

1 審議会名	上田市地域クラブ活動推進協議会
2 日時	令和7年3月27日 午後7時から午後8時30分まで
3 会場	市役所本庁舎 5階 大会議室
4 出席者	池田泰司会長、小林邦朗副会長、齋藤 毅委員、佐野正樹委員、竹田貴一委員、 畠山正幸委員、緑川 篤委員、宮本恵美委員、 飯嶋政泰県東信教育事務所生涯学習課長（オブザーバー）、 由井正史県東信教育事務所指導主事（オブザーバー）
5 市側出席者	酒井秀樹教育長、小野沢和也教育次長、清水嘉永スポーツ推進課長、 宮下広志スポーツ推進課スポーツ推進担当係長兼交流スポーツ担当係長、 小林 穰文化政策課長、宮下淳夫文化政策課係長、長田泰幸学校教育課長、 川俣将人学校教育課学校教育担当係長、福澤行雄学校教育課指導主事、 松崎知枝学校教育課学校教育担当主査、綿内美季学校教育課学校教育担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和7年4月10日

協 議 事 項 等

1 開 会（事務局）

2 教育長あいさつ（酒井教育長）

3 会議事項

（議長） 会議に入る前に確認だが、前回協議会では、上田市においては休日・平日一体で令和8年度末までに展開すること。展開型を基本とし、スケジュールは運動系と文化系を切り離して考えていくという大きな方向性が決まった。委員の皆様には、上田市の子どもたちのために、更なる方向性と今後の見通しについて検討いただきたい。

（事務局） 資料に沿い、以下について概要説明

- ・第2回協議会を踏まえた方向性と今後の見通し

（委員） 令和9年度からクラブ化するには、今の5年生が中学に入学するときには部活の募集を停止しないと間に合わない。今の6年生が中3になるのが令和9年度であり、5年生も募集してしまうと部員が増え展開がしづらくなるため、基本的に5年生は募集しない。そうすると、最後は中学3年生だけが残る。クラブと部活動が両方ある状態になるが、同時進行でいかないと厳しいと思う。私の案だが、今の5年生については募集せず、クラブ化されたところに入る子どもと部活に入る子どもに分かれる。部活の募集を停止するならば、それに対し理解を得られるよう来年度1年間で推進していかなければならない。

（委員） 小学校の子どもたちや保護者には説明をしているのか。当事者として一番関わる子どもたちにも説明しないと、子どもたちが疎外された状態である。

（事務局） 県教委からのチラシの配布にとどまっている。

（委員） 全学年ではないが、小6のみ保護者会では説明している。小6が中3になった時に一番変化があるため、各学校で説明をしている。

五中のサッカーは真田中と合同チームを組んでいるが、来年度は更に一中も入り、3校が一緒に活動していく。その先行事例が、丸子北中、丸子中、依田窪南部中の依田川FCで、4月からクラブチームとなり中体連大会に出場する。五中もこの事例を参考に進めていくが、選ぶというよりも、中学に入ったらこの合同チームで活動することになり、2年生から3年生になる時も、チームは変わらず登録が変わるだけ。これから生まれるクラブや個人種目については、先ほどの話のように部活として残ることもあるが、今の小6が中3になった時になくなるということではなく、令和9年度から展開できるのではないかと。

（事務局） 2点よろしいか。1点目として小学生への説明ができていないのは、いつから部活がなくなるのか、はっきりしていなかったためである。希望を聞けば、現状が良いという方向で意見がでると

思うが、市教委だけで、子どもたちがそう希望しているから部活を残すことを示せないため、説明が後回しになってしまった。子どもたちの気持ちを無視していくという思いではない。

2点目だが、来年度の中1が夏の大会に出場するかどうかは、学校現場にお任せしたい。今までどおり部活があると思って入ってきた子どもたちが最後の大会に出られないのは、こちらの遅れのせいで子どもたちに迷惑をかけることになってしまうので、出場できるよう調整依頼をしていきたいと考えていたが、現場の先生や子どもたちの意向もあることは分かるので、一番は現場にお任せできればと思う。

- (議長) 一番大事なのは、子どもたちにとって不安や情報不足がない形を考えていくことである。それでは今日の一番大事なところであるが、今後の見通しについてご議論いただきたい。事務局の設置、小委員会の設置といった具体案も示されており、庁内の調整を図っていくことや、地域や種目の実情を知った上で進めていくことが必要だとのことご提案をいただいたが、ご意見やアドバイスはあるか。
- (委員) コーディネーターの設置について、時間がない中、スピーディーな推進のためには必須であるので設置されて良かった。協力しあって進めていきたい。
- (委員) 小委員会の設置には賛成である。庁内連携についてだが、交通手段も関わってくる中で、市内の巡回バス等担当している部署も入ってくると連携がうまくいくのではないかと思う。
- (議長) 課題も多くあり予算関係も絡むため、庁内の連携は大切である。役割を明確にし、連携してもらいたい。
- (委員) 小委員会で協議することで展開が進んでいくと思う。運動系、文化系に分かれ構成され、この協議会も3回開催するとのことだが、これをどう広めていくかが大事である。上田市の進み方を関係機関や市民、企業へも広め、移動手段や指導者について協力依頼をしていった方が良いのではないか。
- (事務局) 競技団体の指導者も企業の方が多いので、人的な協力のほか可能であれば金銭面での支援も依頼していきたい。先行市は企業や大学とも連携しているため、そういったところへの情報発信もしていきたい。
- (議長) コーディネーターの設置、小委員会の設置は今後進めていく上で大変有効であるのご意見をいただいた。4月からスタートとのことだが、具体的なことはまだこれからということが良いか。
- (事務局) 本来であれば具体的なものを示したいが、基本的には事務局で進行案を作成、調整の上会長へ報告し、委員の皆様には文書等でご報告したい。
- (委員) 令和7年度からコーディネーターが配置されるが、業務のボリューム感に対し1名で足りるのか。関係団体と密な擦り合わせが必要になってくるため複数人必要だと思うが、令和7年度から令和8年度の人員体制はどのように考えているか。
- (事務局) 令和7年度はコーディネーター1名配置以外、従前の職員体制でスタートする。ただ、市長部局との連携の中でも今後必要なものは出てくる。コーディネーター1名では過酷で困難な状況が想定されるため、人員体制等について協議会でご意見いただいたことも含めて、担当部署とも検討し強化を図りたい。
- (議長) 市長部局やスポーツ協会等と打ち合わせをしていく中で、協力していただくことも当然必要になってくる。市町村によって規模も違い、関係団体や組織も異なるが、これを踏まえて東信教育事務所からアドバイスをいただけるか。
- (オブザーバー) 地域コーディネーターが既に配置されている市町村はいくつかあるが、市町村によって役割はかなり違う。連絡調整役となってクラブや部活動を回りアドバイスをするようなコーディネーターもいれば、事務局的な作業をするコーディネーターもいるので、市としてどういった方向でコーディネーターに活躍いただきたいか方向性を示して有効に活用していただきたい。
- (議長) 具体的なことは事務局で提案いただくが、今の要望等を踏まえて4月にスタートしてほしい。今後、事務局と小委員会を設置するというご認識いただいたということが良いか。次に運営主体の設置についてはどうか。
- (委員) 先ほど話に出たが、いくつかの中学校がまとまってクラブチームを立ち上げていく動きが出ている。市内でも新たな中学生対象のクラブチームを作りたいという方たちがいたり、学校の先生方

が何人かで地域展開へ貢献できるようクラブを立ち上げていこうとしている。その許可を出すのがどこなのか、悩ましいところである。この協議会が運営主体になりうると思うが、地域のクラブチームとしての許可をこの協議会で出すのか。中体連では既にあるチームが大会に参加できるのか判断はするが、その前にチームを作るところの許可をどうするのか。特に教員だけで作る場合などは許可が必要になるし、整備は早急にしなければならない。それぞれの競技で動きがあるので、運営主体は早く決めていく必要がある。

(事務局) 各団体がそれぞれ募集、会計処理、指導者任用をすると、何かあったときの責任の所在の問題が出てくるため、最低限の基本となるガイドラインは定めなければならないが、現状、案は持ち合わせていない。運営主体はこの協議会がやるのか、行政がやるのか、他の団体がやるのか、新たなものを立ち上げるのか、いろいろな形があるが、新たな組織を立ち上げるのは難しいと思う。既存の組織の中にその役割を持っていただけでないか、今後コーディネーターを含め各競技団体とのヒアリングの中で交渉し決めていきたい。次回の協議会の中では、ある程度の案を出して決定しなければならない。

(委員) 運営主体としての業務はどのようなものを想定しているか。

(事務局) クラブチームなどの実施主体があり、それぞれの実施主体を束ねるのが運営主体である。例えば行政から補助金が出る場合、個々の実施主体に直接交付するのではなく、どこか束ねるところに補助金を交付し、そこが傘下のチームに交付したり、指導者研修をお願いするとか。研修や費用の関係等について全市的な対応のできる団体というイメージである。

(委員) 次の協議会を待っていては間に合わない。中体連の大会に出るのか、競技団体の大会に出るのかも変わってくるので、とにかく早く進めたい。それを考えると協議会が適切ではないか。過渡期でもあるが対応していかなければどんどん遅れる。この協議会でやるのが動きやすいのではないか。

(委員) スポーツ協会では各団体において規約を作り、必ず会計報告をする。最低限そういった規約を作り、それを守って活動するという形で募集をするべきではないか。

(事務局) 運営主体はどんなところが担っていることが多いのか。

(オガサハ) 運営主体は教育委員会をはじめとした協議会で担っている場合も多い。スポーツ団体に担ってほしいと考えていても、会計事務等に手が回らないのが実情である。それで断られてしまうことが多いが、県では会計関係がスムーズにできるアプリを推奨している。1人100円で加入でき、会計処理が楽になるアプリであり、その使用を条件に運営主体を引き受けた団体等もあると聞いている。

(議長) この協議会が運営主体として実施主体を束ねていくのが良いのではないかというご意見だが、年3、4回の協議会では間に合わないのではないか。スポーツ協会をお願いするのはどうか。

(事務局) 委員の皆さんの団体で、運営主体を担うことはイメージできるか。この協議会が担うというのも一つだが、この協議会で実際の会計処理までというのはイメージがわからない。クラブが適切かどうかの基準を定め、市の定めた基準に沿って活動しているか判断するのはこの協議会で良いと思う。協議会の事務局は行政なので、行政が運営主体になるということかとも聞き取れるが、現段階では決めかねているのが実情のため、ぜひ皆様方の団体にも今後それぞれご相談させていただきたい。

(委員) 国の実証事業としての先行事例を参考にしていくのが一番良いのではないか。そこには規約もあり予算の関係、チームの承認等もやり方が決まっているので参考にしてほしい。

(事務局) 先進市や、庁内関係課ともしっかりと協議していく。

(議長) 事務局と小委員会の設置で様々なことが見えてくると思うので、進めながら今日出された意見について検討していく。事務局、小委員会を設置すること、運営主体については早急に先行事例等も見ながらどのような形にしていくか進めていくということ、大まかにはこのスケジュールで進めていくということでご承認いただいたということで良いか。

(事務局) 資料に沿い、以下について概要説明

- ・上田市中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針（案）
- ・上田市部活動地域展開推進計画（案）

(議長) 意見要望等あるか。今日の議論を踏まえて再度目を通していただき、何か意見があれば事務局に連絡してほしい。指針については部活動がなくなっても、今後もクラブの活動を含めて全ての指針になるということか。

(事務局) 長野県においては大きく中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針として定めている。上田市としては、県の指針に沿ったものを策定することが求められているので、部活動が地域クラブ活動になってもこの指針を当てはめていきたい。

(議長) それではこれも成案ということで進めていただくということをお願いしたい。

4 事務連絡 (事務局)

5 開 会 (事務局)